



POTEKAセミナー講演



当社展示ブース

自治体・公共Week2023「地域防災EXPO」に出展

6月28日～30日にかけて東京ビッグサイトで開催された自治体・公共Week2023「地域防災EXPO」にPOTEKAとQCAST、計測震度計を出展しました。この展示会は、自治体が抱える地域防災の課題を解決するため、およそ260の団体が出展しました。

POTEKAは風水害の対策を強化した後継機(2024年リリース予定)を、QCASTは長周期地震動にも対応した新製品(今年7月リリース)を先行展示しました。会期初日には、当社従業員によるPOTEKAセミナー講演も実施し、自治体の防災対策における超高密度気象観測・情報提供サービスの具体的な活用方法を紹介しました。

明星電気は、これからも地域の安全・安心を守るために、独自のセンシング&コミュニケーション技術を駆使した新しいサービスを提供していきます。

(担当:気象防災事業部)



当社展示品(上)と来場者対応の様子

第34回宇宙技術および科学の国際シンポジウムに出展

6月3日(土)～7日(水)福岡県久留米市にて開催された第34回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)に出展しました。ISTSは、2年に1度開催される国内最大の宇宙国際会議で、研究者、技術者が研究発表を行うだけでなく、一般の方もトークイベントに参加できるシンポジウムです。前回大会は新型コロナウイルスの感染拡大により中止となったため、4年ぶりの開催となりました。

当社は小惑星探査機「はやぶさ2」に搭載された近赤外分光計NIRS3、分離カメラDCAM3、およびJEM自律移動型船内カメラInt-Ballを展示しました。当日は幅広い世代の方々が来場し、会期中の6日にInt-Ballの後継機であるInt-Ball2がドラゴン補給船運用28号機(SpX-28)で打ち上げられたこともあり、注目を集めました。

明星電気は、IHIグループのシナジーを活かし、宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



当社展示スペース

ぐんまスペースアワード2023に参加

当社は上毛新聞社主催の「ぐんまスペースアワード2023」に参加しています。これは、宇宙教育の機運を高め、宇宙産業人材の発掘・育成を目的に、群馬の地からロケットを飛ばすプロジェクトです。

6月12日に「宇宙パネルディスカッション&座談会」が開催され、当社の寺門宇宙防衛事業部副事業部長が参加しました。座談会では、「群馬から宇宙ビジネスを」をテーマに意見が交わされました。

また7月8日には、前橋総合運動公園陸上競技場でロケットの打ち上げや模型展示などが行われ、小惑星探査機「はやぶさ2」に搭載された分離カメラDCAM3、近赤外分光計NIRS3の模型と、超小型衛星「WE WISH」のエンジニアリングモデルを展示しました。

明星電気は、群馬県での宇宙に関わる人材の発掘・育成をサポートしていきます。

(担当:宇宙防衛事業部、総務人事部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。